

資金協力事業/開発課題別の指標例 (廃棄物管理)

(注) 青字は、最近の国際潮流であるSDGsを踏まえ、事業計画策定時(指標設定時)に、事業担当者が国連SDGグローバル指標等を参照できるようにするため、同指標等を参考追記したもの。

開発戦略目標(*)	中間目標	中間目標のサブ目標	インフラ種別	標準的な指標例	指標作成方針・方法	同インフラ種別毎の参考案件		
						国名	案件名	評価年度
2 適切な廃棄物管理に向けた技術改善(*)	2-2 収集・運搬の改善	2-2-2及び2-2-3 収集対象地域の拡大及び収集の効率化・サービスの改善	ごみ収集輸送車(パッカー車、着脱式コンテナ車、コンパクトトラックコンテナ反転装置付等)、コンテナ、収集輸送車点検修理用機材一式	運用指標 基本 ①ごみ収集量(トン/日) ②ごみ収集率(%) ③ごみ収集車両の稼働率	収集機材の供与によって、収集サービスが改善されることが重要。適切な維持管理とあわせて、本サービスの改善を表す指標設定を行う。(サービス実施者の指標) ごみ収集量：最終処分場で収集車両の重量計(トラックスケール)が設置されていない場合は収集車のトリップ数と容量から計算した推計値となる。 ごみ収集率(%)：(年ごみ収集量/年ごみ発生量)。なお、ごみ発生量を出すためには、当該地域の人口データとごみ量ごみ質による発生量原単位(kg/人/日)データが必要。 ごみ収集車両の稼働率：稼働日/月、トリップ数/日、走行距離km/日、一日あたり稼働台数/総台数など目的に応じて設定する。	ジブチ共和国 廃棄物処理機材整備計画 2012年 ベトナム ハノイ市廃棄物管理機材整備計画 2007年 パレスチナ ごみ処理機材整備計画 2005年 コソボ コソボ共和国廃棄物管理向上計画 2010年 スーダン ハルツーム州廃棄物管理能力向上計画 2013年 バングラデシュ 廃棄物管理機材整備計画 2015年		
				効果指標 基本 ①収集対象人口 ②不法投棄場所の減少 補助 ①収集計画の改善 ②特殊廃棄物(医療等)の収集量(案件によって設定) ③ごみ料金徴収率 ④ごみ収集費用(\$/t)	サービスを受けている裨益者の数、質の向上を目的とした指標設定。(サービス受益者指標) ごみ料金徴収率(%)：ごみ料金支払い人口/ごみ収集サービスカバー人口 ごみ収集費用(\$/t)：トン当たりにかかる収集・処分等の費用を積み上げたもの。収集効率が改善すると下がる。財務的な面から見た効率性指標。	シリア 第2次地方都市廃棄物処理機材整備計画 2009年		

資金協力事業/開発課題別の指標例 (廃棄物管理)

(注) 青字は、最近の国際潮流であるSDGsを踏まえ、事業計画策定時(指標設定時)に、事業担当者が国連SDGグローバル指標等を参照できるようにするため、同指標等を参考追記したもの。

開発戦略目標(*)	中間目標	中間目標のサブ目標	インフラ種別	標準的な指標例	指標作成方針・方法	同インフラ種別毎の参考案件		
						国名	案件名	評価年度
			中継基地、中継輸送車	運用指標 基本 ①中継基地の処理能力 ②中継基地の稼働率 ③ごみ搬入 ④ごみ収集率(%) (年ごみ収集量 / 年ごみ発生量) ⑤中継輸送車両の稼働率	基本的な考え方は、ごみ収集機材と変わらない。 収集対象人口：収集対象人口/地域総人口から人口カバー率(%)として示す方法もある。 中継基地の稼働率：施設への搬入量(t/日) / 施設の計画搬入量(t/日) 中継車両の稼働率：稼働日/月、トリップ数/日、走行距離km/日など目的に応じて設定する。	ヨルダン	第2次大アンマン市環境衛生改善計画	2009年
				効果指標 基本 ①収集対象人口 ②収集量及び率 ③不法投棄場所の減少 補助 ①処理効率化(測定方法は事案によって検討) ②ごみ料金徴収率 【参考】 国連SDGs指標：11.6.1「都市で生成される廃棄物について、都市部で定期的に回収し適切に最終処理されている固形廃棄物の割合」 【参考】 JICA第4期中期目標の指標：環境管理分野(廃棄物)に係る研修実績数		ラオス	環境的に持続可能な都市における廃棄物管理改善計画	2013年

資金協力事業/開発課題別の指標例 (廃棄物管理)

(注) 青字は、最近の国際潮流であるSDGsを踏まえ、事業計画策定時(指標設定時)に、事業担当者が国連SDGグローバル指標等を参照できるようにするため、同指標等を参考追記したもの。

開発戦略目標(*)	中間目標	中間目標のサブ目標	インフラ種別	標準的な指標例	指標作成方針・方法	同インフラ種別毎の参考案件		
						国名	案件名	評価年度
2 適切な廃棄物管理に向けた技術改善(*)	2-3 中間処理の導入・改善	2-3-1 減量化、リサイクル	有価物回収施設、焼却処理施設	運用指標 基本 ①有価物回収施設の稼働率(%) ②有価物回収施設 取扱量	有価物回収施設の稼働率(%)：施設への搬入量(t/日)/施設の計画処理量(t/日) 施設稼働を行うことを測ることが重要。そのために、稼働率、取扱量を指標とすることが基本。	パレスチナ	西岸地域廃棄物管理改善計画	2012年
				効果指標 基本 ①有価物回収施設の 取扱量 ②有価物回収による リサイクル率 【参考】 国連SDGs指標：12.5.1「各国の再生利用率、リサイクルされた物質のトン数」 【参考】 日本政府SDGs実施指針指標：一般廃棄物のリサイクル率 【参考】 JICA第4期中期目標の指標：環境管理分野(廃棄物)に係る研修実績数	焼却処理施設、コンポスト施設が入る場合は同様に稼働率や減量化率、減量処理率(廃棄物発電の場合は発電量)を指標とすることを検討。 有価物回収によるリサイクル率については、収集対象地域の発廃棄物発生量を把握することが可能か留意が必要。また、国連SDGs指標：12.5.1の再生利用率の算出方法については、国際的な議論の過程にあり、指標の設定に当たっては、留意が必要。			
	2-4 最終処分場の改善	2-4-3 最終処分場の適正な管理・運用	最終処分場用機材(コンパクタ、ブルドーザー、トラックローダー等)、 最終処分場の新規建設・拡張	運用指標 基本 ①最終処分場用機材の稼働率 ②ごみ最終処分量(t/年)	処分場は、稼働すること及び質的改善(衛生埋立に近い状況により近づくこと)が重要だが、状況改善の内容は、案件によって異なるために数値的指標の設定は困難。	中華人民共和国	西安市廃棄物管理改善計画	2008年
				効果指標 基本 ①ごみ最終処分量(t/年) ②処理後浸出水BOD濃度(mg/l) ③処分場の状況改善、 延命化 補助 ①処理後浸出水COD濃度(mg/l) ②覆土の実施状況 【参考】 国連SDGs指標：11.6.1「都市で生成される廃棄物について、都市部で定期的に回収し適切に最終処理されている固形廃棄物の割合」 【参考】 JICA第4期中期目標の指標：環境管理分野(廃棄物)に係る研修実績数	最終処分場用機材の稼働率：稼働日/月 ごみ最終処分量：搬入量/年(t/年)	パラオ インド 中国 中国 ベルー	廃棄物処分場建設計画 コルカタ廃棄物管理改善事業 安徽省都市廃棄物処理事業 湖南省都市廃棄物処理事業 固形廃棄物処理事業(有償)	2018年 2005年 2007年 2007年 2012年

(*) 開発戦略目標で、開発戦略目標1「廃棄物管理能力の向上」は資金協力で該当案件がないため除外。その他該当しない中間目標、サブ目標も除外している。